

宝塚市ボーガン殺傷事件を受けた本県の対応について

令和2年6月4日(木)に兵庫県宝塚市において発生したボーガン殺傷事件を受けた本県の対応として、「クロスボウ(ボーガン)」を徳島県青少年健全育成条例における有害がん具類へ指定し、青少年期における当がん具の所持・使用等について規制を設けることとした。

1. 兵庫県宝塚市で発生した事件について

令和2年6月4日(木)午前、兵庫県宝塚市の住宅で無職の男が同じ家に住む家族4人の頭などをボーガンで撃ち殺傷。亡くなった3人は逮捕された男の祖母、母親と弟で、伯母は首などを撃たれて重傷。容疑者は犯行前の午前5時頃から5時間程度間に、ボーガンで自宅にいた祖母や弟、伯母を襲ったあと、携帯電話で呼び出した母を襲った。

現場からは、長さおよそ70センチ、幅およそ80センチのボーガンや十数本の矢が押収されており、容疑者は、使用したボーガンについて「インターネットで購入した」と供述している。

2. 有害がん具類について

青少年による所持・使用に危険があるとして、徳島県青少年健全育成条例において、販売・譲渡等が規制されているがん具類。自治体によって規制の対象、罰金等は異なる。

3. クロスボウ(ボーガン)とは

クロスボウ(ボーガン)とは、銃砲型の近代洋弓と訳されるとおり歴史的には西欧において発達した武器の変形であり、その構造は洋弓を銃型に改造し、銃同様に引き金を引くことで矢を発射させるようになっている。現在では、アーチェリーや弓道と同じようなスポーツ競技用の道具として普及している。

なお、ボーガンの名称は、以前に商標登録されていたものであり、形状から見た弓式の銃の英語「BOW(弓)・GUN(銃)」を組み合わせた和製英語。現在、商標登録の更新は行われていない。

(参考)



4. 直近の有害指定がん具

| 指定日 | 名称 | 構造 | 指定経緯 |
|---------|------------|--|--|
| H20.7.9 | 固定式 ナイフ | 刃体の長さが六センチメートルを超えるナイフであって、刃体がつかに固定されている片刃又は両刃のもの（平成10年徳島県告示第百五十三号（有害がん具類を指定する件）により有害がん具類として）指定したサバイバルナイフ及び一般家庭用、学習用又は業務用に使用する、包丁、果物ナイフ、カッターナイフ、切り出し、くり小刀、ペーパーナイフ、冷凍ナイフその他のナイフを除く。） | 平成20年6月8日に東京・秋葉原でダガーナイフを使用した無差別殺傷事件が発生。当該ナイフは、殺傷能力が高く、日常生活における実用性が乏しいことから、青少年が所持、使用することにより類似事件の発生や青少年の健全な育成を阻害する恐れがあるため、有害がん具類に指定。 |

5. 有害がん具類の指定に関する県内検挙事例（過去10年間）

有害がん具類の青少年への販売等、有害がん具類の指定に関する県内の検挙事例はなし。

6. クロスボウ等を使用した傷害・傷害事件（過去10年間）

| | 都道府県 | 概要 | |
|-------|------|------------|--|
| H23.5 | 青森県 | 殺人 | 58歳の元不動産業の男性が、77歳の親戚の無職女性と土地関係でトラブルとなり同女性宅に侵入して腹部に矢を射り、紐で首を絞めて殺害した。 |
| H24.6 | 徳島県 | 器物損壊 | 19歳の無職少年が、顔見知りの70代の女性宅の玄関引き戸に向けて、矢を放った。 |
| H25.3 | 神奈川県 | 殺人 | 19歳の少年が、ナイフ、ボウガンを使用し、ソファで寝ていた43歳の母親を殺害した。 |
| H25.3 | 熊本県 | 強盗致傷 | 26歳の会社員男性が、自宅で就寝中の夫婦（夫55歳、妻54歳）をボウガンで脅して金銭を要求したが、抵抗されたため、同夫婦をボウガンで殴打等し負傷させ、逃走した。 |
| H25.5 | 東京都 | 脅迫 | 29歳の無職男性が、12歳の男児に対し、「矢を取れ」等と怒鳴りながら同男児の胸にクロスボウを向けて脅迫した。 |
| H25.9 | 石川県 | 暴力行為違反（脅迫） | 34歳の無職男性が、18歳から19歳の男子大学生6名に向けて矢を放った。 |
| H27.4 | 茨城県 | 殺人未遂 | 39歳の男性が、自宅途中の男性の足をクロスボウで撃ち、怪我を負わせた。 |
| R2.6 | 兵庫県 | 殺人 | 兵庫県宝塚市の住宅で、同住宅に住む大学生（23）がボウガンを使用し、家族4人を殺傷 |

7 他府県のクロスボウ有害玩具指定状況(本県を除く)

※ 6月29日時点

| 指定状況 | 件数 | | 備考 |
|---------|----|------------|--|
| 指定している | 17 | 個別指定 13 | 奈良県、和歌山県、岡山県、兵庫県、茨城県、栃木県、石川県、静岡県、滋賀県、島根県、熊本県、宮崎県、沖縄県 |
| | | 包括指定 4 | 三重県、広島県、福岡県、大分県 |
| 指定していない | 30 | | 上記以外 |

8 クロスボウの青少年利用実態(令和元年・本県データ)

※県教育委員会事務局体育学校安全課より聴取

| 区分 | 校種 | 校数 | 部員数 |
|--------|----|-------------------|----------------------------|
| クロスボウ | なし | なし | なし |
| 弓道 | 高校 | 19校 (公立19、私立0) | 男:265名 女:266名 計 531名 |
| | 高専 | 1校 (公立1、私立0) | 男:17名 女:5名 計 22名 |
| | 中学 | 9校 (公立9、私立0) | 男:92名 女:147名 計 239名 |
| アーチェリー | 高校 | 1校 (公立1、私立0) | 男:22名 女:3名 計 25名 |
| | 高専 | なし | なし |
| | 中学 | なし | なし |

9 クロスボウの競技人口(全国)

※各連盟等の公表数値より算出

| 区分 | 競技人口 | 所属団体 | 備考 |
|--------|------------|-------------------|--------------------|
| クロスボウ | 100 人 | 日本ボウガン射撃協会会員 | うち中高生 不明 |
| 弓道 | 135, 403 人 | (公財)全日本弓道連盟登録 | うち中高生 78, 215 人 |
| アーチェリー | 13, 394 人 | (公社)全日本アーチェリー連盟登録 | うち中高生 4, 783 人 |

10 クロスボウの販売可能性のある店舗数(県内)

| 店舗区分 | 対象店舗数 |
|----------|-------|
| 銃砲店 | 4 店 |
| 娯楽用品・玩具店 | 26 店 |
| スポーツ用品店 | 54 店 |
| 模型店 | 1 店 |
| 合計 | 85 店 |